

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年11月10日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872100284		
法人名	有限会社 カサブランカ		
事業所名	有限会社 カサブランカ	ユニット名	
所在地	〒311-1204 茨城県ひたちなか市平磯遠原町17-14		
自己評価作成日	平成27年5月10日	評価結果 市町村受理日	平成28年2月1日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kihon=true&JigyosyoCd=0872100284-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成27年6月11日	評価機関 決 済 日	平成27年11月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>家庭的、家族的な雰囲気作りを目指しています。又、個別ケアにも力を入れ、ご利用者が安心して生活が出来るよう、日々、頑張っています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>元アパートを改修した事業所で、限られた条件の中でも各所に手摺を設置するなど、安全面に気を配るとともに、2階へは階段を利用するため、車いす利用者は1階にするといった、利用者の状態に応じて居室を決める配慮をし、利用者が安全に居心地よく暮らせるよう支援をしている。 管理者と職員はチームワークを良好に保ち、利用者一人ひとりの意向や希望を大切にするとともに、人格と尊厳を守って家庭的な雰囲気のもと、その人らしい安心した生活が出来るように支援している。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会議時に理念を読み上げたり、共に共有して実践につなげている。	「明るく、家庭的な雰囲気のもとに、地域社会や家族とのむすびつきを大切にし、その人らしい安心した生活が出来るよう、支援させていただきます。」という地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を職員で話し合って作成し、事務室や玄関に掲示するとともに、職員会議で理念を確認し共有しながら実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の散歩や買い物の際に、挨拶や会話をかわしている。又、地域の祭りや地域の奉仕活動に参加させていただいています。	利用者と職員は散歩や買い物時に挨拶を交わし、近隣住民と顔馴染みになっている。平磯地区の地域の祭りでは、山車が事業所に立ち寄り、子ども達から踊りを披露してもらったり、利用者や職員は飲み物を用意して交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の祭りや、自治会の奉仕活動に参加させていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	取り組み状況等の報告や話し合いを行っている。又、運営推進会議の話し合いで、奉仕作業の参加の実現や、外出先を教えていただいたりと、サービスの向上に活かしている。	運営推進会議は家族等の代表や地域包括支援センター職員、自治会長、民生委員の参加を得て2ヶ月に1回開催している。会議では事業所の現状や活動報告を行うとともに、防災訓練について自治会や家族等の協力を得て開催出来るように話し合いを行うなど、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	分からないこと等など、市担当課を訪問したり、電話などで相談するなど、協力関係を築くように取り組んでいる。	管理者は運営推進会議の議事録を毎回市担当者に直接届けたり、電話等で利用者や事業所の状況等を情報交換している。 事業所建物の建築基準上の改修工事を行う際にも市担当者及び建築指導課と相談したり、指導を得て完成に至っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設勉強会等などを行い、禁止の対象となる具体的な行為等、正しく理解していると思います。玄関の施錠はせず、出入りの際チャイム音などで分かるようにしたり、身体拘束をしないケアに全員が取り組んでいる。	身体拘束排除マニュアルを作成しているほか、「身体拘束のない介護のための指針」を廊下に掲示するとともに、管理者は研修会や勉強会を通して全職員が身体拘束の内容や弊害を理解するよう努めている。 玄関や居室の掃き出し窓は日中は施錠をせず、職員が見守ることで利用者の安全を確保し、自由な暮らしが出来るよう支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設勉強会を開催し、高齢者虐待防止法について学んでいる。又、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前に社協の地域福祉権利擁護事業を使っていたご利用者の方がいたため、職員も周知していると思います。今後も必要な方達に活用出来るよう、勉強して行きたいと思います。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者、ご家族が理解・納得を得られるよう、時間をかけて説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居契約時、ご利用者・ご家族には、苦情相談（意見・要望）について、文章により明確に説明を行っている。又、日々の中で意見・要望などないか、職員がさりげないコミュニケーションの中で聞き出したりと配慮してケアを行っている。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに、各居室に面会記録簿を置いて意見要望欄を設けているが、意見や要望はほとんどない状況である。 職員は日々の生活の中で利用者から意見や要望を聴くほか家族等からは来訪時に話を聴くようにしているが、率直な意見や要望を汲みあげるまでには至っていない。	年1回程度、満足度調査を含め無記名の家族アンケートを実施し、家族等の率直な意見や要望を汲みあげることを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議等の時に職員の意見・提案を聞く機会を設け、職員の働きやすい職場の環境作りなど、反映させている。	管理者は月1回の職員会議や日々の話し合いの際に、職員から意見や提案を聞くように努めている。 夕方から開催する職員会議の場合は、職員が子ども連れでも参加できるよう配慮している。 事務室に掲げるカレンダーに、各職員が希望休を書き入れて勤務表を作成し易いようにする工夫や、必要に応じて勉強会を行う提案等を取り入れ、運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成等、カレンダーに職員が、自由に休みを書き入れ、職員が向上心をもって、働きやすいよう、整備に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自由に研修・試験・学校等に参加出来るよう、シフト調整など、協力的に行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	茨城県地域密着型介護サービス協議会、茨城県老人福祉施設協議会、ひたちなか市社協等に入会しており、勉強会等、交流する場があり、色々な情報や分からないこと、その他、勉強させていただいている。又、それをサービスの質の向上につなげられるため、助かっている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人に寄り添いながら、安心して生活出来るよう、日々、努力している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様に寄り添いながら、関係作りに日々、努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスの利用段階時、ご本人・ご家族様が何を必要としているのか、今後、どのようにしていきたいのか、良く話し合いをし、グループホームとして可能な限りのサービス提供の対応に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホーム全体が家庭的・家族的な雰囲気であり、暮らしを共にする者同士の関係作りに努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	その時々、場面場面で、ご家族に相談しながら、参加していただいたりと、共に支えていく体制で取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の思いを大切にしている。友達や馴染みのある場所等、ご本人の訴えがあった時などは、連絡を先にとるなどして、連れて行ったり、又、遊びに来てもらったりしている。	管理者や職員は家族や親せき、近所の方、知人等が気軽に来訪出来るように配慮したり、利用者が通いなれた理美容室やお墓参りに出かけられるよう支援し、馴染みの人や場所との関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いに助けたり、助けられたりと言う関係を大切にし、生活を送っている。又、その支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族様も高齢化しているため、様々な形で、ご家族様にたいしても支援を行っている。近隣の方達が多いため、温かなつながりを大切にしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いを大切にし、無理強いせず、本人のペースに合わせて、支援の体制作りに取り組んでいる。	職員はサービス開始時の利用者のアセスメントのほか、日々の関わりの中で利用者の思いや意向を把握し、「気づきノート」に記載して共有するように努めている。 思いや意向を表すことが困難な利用者の場合は、家族等から話を聴いたり、話し方や表情、仕草などから思いを汲み取り、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者一人一人の生活歴を把握すると共に、その時々々の場面において、出来ることなどを、手伝っていただいたりと、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人ノートの記録や、スタッフによる報告など、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、医師、看護師の意見など、定期的聞き、介護計画を作成している。	介護計画は利用者や家族等の要望を取り入れるとともに、医療関係者の意見に基づいて計画作成担当者が作成している。 6ヶ月毎にモニタリングを実施して、それぞれの設定期間毎に現状に即した介護計画になるよう見直すほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時介護計画を見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ファイルを用意しており、個人のケース記録を、それぞれ、月別に記入している。バイタル・食事水分摂取量・口腔ケア・整容・内服薬点眼・排泄・気付き等、その日の行動等、様々な角度から、ご利用者の方をとらえて記入している。介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別ケアの取り組みとしても、本人の要望等に応じられるよう、職員の配置などにも気を配り、柔軟な支援が出来るよう、日々、頑張っており取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の中での奉仕活動や祭り、近隣の方々とのコミュニケーションなど、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう、日々、支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診に関しては、本人、家族の希望を大切にしている。又、受診後の報告等など、電話連絡や、必要に応じて、家族の付き添いなどの受診を行っている。かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療をうけられるように支援している。	利用契約時に利用者や家族等の意向を確認し、希望するかかりつけ医への受診を支援している。 かかりつけ医への受診は基本的に職員が付き添い、受診結果は家族等に電話や来訪時に報告するとともに、業務日誌及び介護記録に記載して、職員で情報を共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師の方達と、日々の情報や気づきなどを相談している。又、適切なアドバイスや看護を受けている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、病院関係者との情報交換や相談は常にしている。又、今までも入院時より、病院・病室には、毎日、顔を出すようにしてきた。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人・家族等との話し合いを行っている。又、本人・家族等の要望を大切に、かかりつけ医と相談しながら会議を開催し、職員との方針の共有をしている。その人それぞれに合った取り組みを行っている。	「重度化や終末期ケア対応指針」を作成し、利用契約時に利用者と家族等に説明して書面で同意を得ている。事業所は協力医療機関の医師や看護師と連携を図り、これまでに看取りの経験がある。現在1名の重度化、終末期の利用者を支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	実践力を身につけられるよう、会議時、必要に応じて、勉強会等を開催している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に行っている避難訓練等を通じて、全職員、日々、頑張っています。又、地域との協力体制を築けるよう頑張っています。	夜間を想定した訓練を含む避難訓練を年2回実施している。今回行った避難訓練では、初めて利用者家族や地域住民の参加を得て実施し、実施後は記録を作成して反省点を話し合っている。災害に備えて食料や飲料水、懐中電灯などの防災用品を備蓄しているが、備蓄品リストを作成して管理するまでには至っていない。	備蓄品リストを作成して職員で共有するとともに、食料品の消費期限を記載して管理することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの確保、言葉かけや対応等、気をつけて対応している。	職員採用時にプライバシー保護について事業所の方針を説明し、契約書を交わしている。 職員は、利用者一人ひとりの人格を尊重し、とくにトイレや入浴誘導時には誇りやプライバシーを損ねないよう言葉かけや対応に配慮している。 個人情報の書類は事務所の書架に保管し、取り扱いに十分注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が自己決定出来るように、全職員ケアを行っている。又、働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	必要な場面において、職員を手厚く配置したり、一人一人のペースを大切に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その都度、本人様と職員が一緒に洋服を選んだり、さりげなく支援に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の方達の出来るところから、無理せず準備や片付けをしていただいている。	献立は調理担当職員が利用者の希望を取り入れながら相談して作成している。 利用者が以前担っていた食事の準備や後片付けは高齢化のため難しくなっているが、食事前の口腔体操を利用者が交代で主導している。 職員は利用者の食事介助と見守りを行なっている。 誕生会や季節毎の行事食には利用者の要望を聴きながら好みのものを提供したり、月2回程度の外食も楽しみなものとなるよう支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人ファイルに毎日の栄養摂取量、水分量のチェック項目があり、全職員が周知出来るようになっている。又、一人ひとりの状態や、力、習慣に応じた支援を行っている。	/	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは行っている。又、本人の力に応じた口腔ケアを行っている。個人ファイルに毎日の口腔ケアチェック項目がある。又、在宅歯科が入っているので、口腔衛生や治療等、専門的な口腔ケアが行えている。	/	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中・夜間の排泄状態について、排泄パターンを、全職員が理解・把握しており、自立にむけた支援を行っている。	職員は排泄チェック表により利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、定期的にトイレ誘導をしたり、利用者の様子からサインを察知して声かけや誘導により、トイレで排泄ができるよう支援している。 夜間は居室にポータブルトイレを置いて利用するなど、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や影響を、全職員が理解している。おやつ等、なるべく手作りで、素朴ではあるが、ふかし芋など繊維物が豊富に含まれているような食べ物等を工夫している。又、毎日の散歩等運動なども個々に応じて、取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日の入浴は行っている。基本的な順番はありますが、入りたい方は体調に合わせて、その都度入浴していただいています。入浴の時間については、ご利用者の方達の疾病などもからみ、現在は日中で行っています。	入浴は基本的に1日おきで、午前中の時間帯としているが、入浴日以外でも要望に応じてシャワー浴や足浴ができるよう支援をしている。菖蒲湯や柚子湯等で季節を感じるとともに、入浴剤を利用し、入浴が楽しみなものとなるよう工夫している。 入浴を好まない利用者には無理強いせず、タイミングを見計らって再度誘導するか、職員を替えて声かけし、入浴ができるよう支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースにあわせて、全職員がケアを行っています。安心して気持ち良く眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに処方箋を添付しており、利用者の方達ごとに、どんな薬を服用しているのか、目的や副作用等、理解している。又、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お酒やたばこを飲まれる方の支援や外食や買い物、ドライブ等に出かけたりと気分転換等、支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段は 行けないような場所でも、本人の 希望を把握し、家族や地域の人々 と協力しながら出かけられるよう に支援している	ご利用者の方の希望時は、出 来る限り希望にそって、用 事や買い物等、外にでかけて いる。	職員はその日の天候や利用者の体調に配慮 しながら散歩に出かけたり、事業所の駐車場 にテーブルや椅子を用意してお茶を飲んだ り、外気浴が出来るよう支援している。 年間外出計画を立て、季節の花見や海浜公 園へドライブに出かけるほか、皆で行く外食 も利用者の楽しみとなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人ひ とりの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援して いる	金銭管理は施設側で行ってい ますが、その時々（買い物、 孫等にあげる小遣いや、お祝 い等・・・）によって、使え るように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電 話をしたり、手紙のやり取りがで きるように支援をしている	ご家族に電話をかけたり、か かっていたりと支援してい る。又、手紙のやりとりも出 来、ホームに利用者宛の手紙 も頻繁に届いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居 間、台所、食堂、浴室、トイレ 等）が、利用者にとって不快や混 乱をまねくような刺激（音、光、 色、広さ、温度など）がないよう に配慮し、生活感や季節感を採り 入れて、居心地よく過ごせるよう な工夫をしている	食事やお茶の場所が、ご利用 者の方達の集まる中心の共用 空間となっており、自由に過 ごす場所となっている。季節 ごとに花を飾ったりして工夫 している。	元アパートを改修した事業所で、この1年 のうちに建築基準上1階から2階に設けたス ロープを階段に改修した際に、段の中を広く 取って安心して移動が出来るよう配慮してい る。 居間兼食堂にはソファや長椅子を配置 し、利用者がゆったりと寛げるようにすると ともに、季節の花や観葉植物、利用者が制作 した作品などを飾り、居心地よく過ごせるよ う工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間として、食事やお茶をとる場所が、ご利用者の方達の中心的な集合場所ではあるが、その他にソファを置き、独りになれたり、気の合ったご利用者同士お話しが出来るよう、工夫に努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が居心地良く過ごせるよう、使い慣れた物や、馴染みのある物等、本人や家族と相談しながら、工夫をしている。	居室はベッドや箆笥、エアコン、カーテン、テレビが備え付けとなっている。 利用者は家族等と相談しながら使い慣れた寝具やラジオ、位牌などを居室に持ち込むとともに、利用者が制作した作品や観葉植物、家族との写真、カレンダー、趣味の小物などを飾り、居心地よく暮らせるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人と家族より承諾書をとっており、部屋の入り口に、名前を分かるように出している。又、混乱や失敗を防ぎ、安全で自立した生活が送れるよう、工夫している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が ○ 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが ○ 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 有限会社カサブランカ

作成日 平成28年1月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	年1回程度、満足度調査を含め無記名の家族アンケートを実施し、家族等の率直な意見や要望を汲み上げる。	家族等の率直な意見や要望を汲み上げるため、年1回程度、満足度調査を含め無記名の家族アンケートを実施する。	満足度調査を含め無記名の家族アンケート用紙の作成をし、家族等の率直な意見や要望を汲み上げていきたい。	12ヶ月
2	35	災害に備えて食料や飲料水、懐中電灯等の防災用品を備蓄しているが、備蓄品リストを作成して管理できていない。	備蓄品リストの作成と食料品の消費期限を記載して管理する。	備蓄品リストを作成して、職員で共有し、食料品の消費期限を記載して管理していく。	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。